

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	県施設公園管理運営事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	543
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	小寺 卓也
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	五色姫海浜公園、大谷池(愛媛森林公園)の入込客数			
根拠法令等	自然公園法、伊予市公園条例第1条			
事業の目的	身の回りの自然とふれあえるよう、自然を壊さない・汚さないようにして、後世に残していく。			
事業の内容	県施設公園の維持管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	県と連携し、速やかに問題解決に向け取り組む。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	8,944	12,398	4,813	9,625
	人件費	2,440	1,590	795	1,590
	合計	0	13,988	5,608	11,215
人件費 内訳	人工数	0.30	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	1,590	795	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	11,384	13,988	5,608	11,215

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
光熱水費	千円	1609	1760	863	1568
修繕費・工事請負費	千円	438	1494	504	1438
委託料	千円	6427	8560	2727	6283
利用者数	人	204000	204000	100000	238800

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		11,899	11,500	11,000	11,000	

成果指標				
成果指標	今年度の利用者数÷過去2年間平均利用者数＝成果指標			
指標設定の考え方	県施設公園の利用者を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	1.01	1.01	0	0
実 績	1	1.17	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	国体に向けて県に施設の改修を依頼し、市で対応できる樹木の伐採を大規模に実施し、公園のリニューアル化を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	県施設のストックマネジメント化を行っていくことは、喫緊の課題であるがこれを行う第一歩が長寿命化計画であると思料するものである。長寿命化計画は、県及び市等における公園施設の計画的な維持管理の方針を明確化、共有するとともに、施設ごとに、管理方針、長寿命化対策の予定時期・内容などを、最も低廉なコストで実施できるよう整理をしていかなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・利用者数前年比34,000人増であり、そこを成果指標に挙げるのであれば、自己評価のところで、何が原因で功を奏してこのように伸びたという説明があった方が分かりやすい。・公園管理であり、事故が起これば大きな社会問題になる。必要なお金はかけてきちっと管理しなければならない。・これだけ良い施設があるので、PRに努めていただければと思う。・ホームページを見ても詳しいことが分からない。具体的な施設の内容や料金、申込先などを記載すべきである。・成果指標を人数でやるのは、全然良くない。お客のニーズを具体的にシートで現有するのが、評価制度だと思う。・財政面で直接事業費を下げることはあっても、お客の満足度を下げたり、危険にさらすことがあってはならない。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>喫緊の課題となっている施設改修に関し、県に長寿命化年次計画を立案いただき、計画のある施設改修を進めること。</p>